

第4期（平成26年度）

総会資料



日時 平成26年4月20日（日）18:00～

会場 小牧市中部公民館

日本ボーイスカウト愛知連盟

尾張東地区

地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

第一部 開会式

開会の言葉

国旗儀礼、国歌斉唱

コミッショナー

協議会長挨拶

横江協議会長

来賓祝辞

来賓紹介

感謝状 贈呈 船橋鐸夫 様

スカウト紹介

中谷コミッショナー

富士スカウト ・ 隼 スカウト

休憩

第二部 議案審議

議長選出

総会成立確認

定足数確認報告
(議員数 190 名)
出席 98名 委任状 49名

事務局

議案

第1号議案 平成25年度事業報告の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第2号議案 平成25年度決算・会計監査報告の件

会計係、事務局、監事

第3号議案 平成26年度事業計画の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第4号議案 平成26年度予算案の件

会計係、事務局

議案審議

議長

第三部 閉会式

協議会長 挨拶

横江協議会長

連盟歌斉唱

指揮 石川保子 氏

国旗儀礼

中谷コミッショナー

閉会の言葉

ご来賓名簿
ボーイスカウト振興愛知県議会議員懇談会会員

		選挙区域
水野富夫	様	北名古屋市・清須市・西春日井郡
神戸洋美	様	春日井市
安藤としき	様	北名古屋市・清須市・西春日井郡
石井芳樹	様	長久手市
鈴木喜博	様	丹羽郡
原よしのぶ	様	犬山市
青山省三	様	尾張旭市
日比たけまさ	様	春日井市

組織委員会

事業報告

- 1 定例会6回、講演会1回、登録説明会1回、開催
- 2 加盟登録現況調査（9/末現在）の実施
- 3 各団追加登録と県報告書を作成
- 4 講演会（テーマ：尾張東地区記念講演会「道を究めて」）を開催
- 5 地区誌（はやぶさ）を3回発行
- 6 地区WEBの更新
 - ・第16回日本ジャンボリーの専用ページの開設
 - ・第2回地区カブラリーの専用ページの開設
 - ・地区フェイスブック開始
 - ・各委員会から依頼された資料の掲載
 - ・地区HP有料広告要綱要項の掲載
- 7 地区分布図の更新（外部ページ）
- 8 33～34回ボーイスカウト凶画コンテスト尾張東地区展」の開催
- 9 団委員長会議分科会支援
- 10 文書共有用にインターネット上の仮想ドライブ（Googleドライブ）を作成
- 11 県連総会にて司会を担当
- 12 愛知連盟凶画写真コンテストへの出品と奉仕及び表彰式参加
- 13 カブラリーシンボルマーク募集

評価反省

- ・昨年度に続き3部会制（総務・登録・広報）にて効率的な運営ができました。
- ・地区の主要な会議記録概要を発表し組織委員の意識向上に努め、他部門連携の重要性認識を高めました。
- ・加盟登録現況調査を実施し（9/末現在）追加登録者獲得促進を図る事ができました。
毎月の登録状況表を発表し、ほぼ全団が追加を達成できた。
- ・講演会を開催し団のスカウト増員企画力アップ支援を行う
- ・団研履修率60%に対して半数程度の達成となり次期以降の課題としていきます。
- ・地区WEBの活用を見直し管理された情報展開と利用率向上のアピールを強化していきます。
- ・委員会への出席が0の団が数団あった

スカウト委員会

事業報告

1. 運営委員会の開催と参加
 - ・ 地区運営委員会開催
地区年間プログラムに従って、地区スカウト委員会を6回開催しました。
 - ・ 県連スカウト委員会への参加
5回開催の委員会の総て参加し、内容を地区へ伝達しました。また、所属する部会の事業を実施しました。そして、県連富士スカウト面接会に参席し県コミの考え方を地区面接に反映させました。
2. スカウト対象技能章講習会の開催
 - ・ 4/7 看護章講習会
 - ・ 4/13-14 炊事章・野営章一泊講習会
 - ・ 9/28-29 炊事章・野営章一泊講習会
 - ・ 12/7-8 救急章講習会
 - ・ 2/11 茶道章講習会

以上5回の講習会を開催しました。詳細は技能章講習会報告にあります。

3. 地区スカウトフォーラムの開催

10月27日犬山野外活動センターにて開催し、2名の代表を県連のフォーラムへ送り出しました。

この実施には、地区RSの支援を受けました。

4. 宗教章講習会開催

9月～11月江岩寺にて開催し5名が修了しました。

5. 菊スカウト章進級スカウト

昨年度より4名減の26名が進級しました。

別紙、2013尾張東菊修得スカウト参照

6. 隼章進級スカウト

6名が進級しました。

春日井第2団 小林裕美、春日井第2団 船橋菜月、春日井第2団 丹羽啓太、春日井第8団 村瀬颯馬
北名古屋2第2団 市川 義、北名古屋第2団 玉井鈴野

7. 富士スカウト章進級スカウト

昨年度同数の2名が進級を果たしました。

日進第2団 大野 彩、小牧第1団 佐藤 遥

8. 技能章修得者

73名(平成26年 02/20現在) 昨年度の5名増の実績です。

評価反省と今後の方策

1. 2013年度事業目標に関して

▲ 目標

- ① 総ての団のスカウト進歩委員は、自己の年間目標を掲げ、その遂行について毎月末にPDCAを行い、団委員会にて報告する
- ② 年間目標には、少なくとも次の二項目を含む事を期待する
 - 1)CS, BS, VS, の個人進歩記録帳を遅滞なく各隊から入手し、進歩を評価する
 - 2)BS 初級～菊、VS 章・隼・富士の団面接を実施して遅滞なく地区に報告する
- ③ 自己の役務を理解し、役務の遂行に最善をつくる。この為の自己研鑽を行う

▲ 評価反省

- ① 委員会毎にお願いをして、報告書提出率58%に至りました。
- ② 団面接報告の提出率は、50%と低迷しています。
- ③ 団内作業報告、委員会参加率(80%～)から判断すると向上は認められませんが数値に示せません。
- ◎ まとめとしては、残念ながら60点の出来上がりです。

▲ 今後の方策

来期は、団面接の実施に焦点を絞り、目標到達に注力します。

団面接には、個人進歩記録の面接会提出を義務づけます。そうすれば、個人記録が整うことになります。

また進歩記章は団が管理して(スカウト進歩委員掌握)面接終了時に隊指導者へ渡すことを要請します。

2. 委員会運営に関して

24個団の運営委員が一堂に会しての会議では、発言する委員が少数に限られるのが前年度でしたが、改善されつつあります。議長から名指しで発言を促すなど方策を講じて、無発言で会議を終わられる方を少なくする努力をします。

3. 事業に関して

技能章講習会、フォーラム共に参加スカウトの減少傾向が認められ心配です。

VS部門の進歩沈滞が主因と考えられます。VS担当コミッショナーとタッグを組んで、VS隊活動の活性化、隼・富士を目指すスカウトの育成を具体的に進める所存です。

事業目標に対する評価

(目標)

- ・地区運営方針に準拠し、指導者の資質の向上を図る。
- ・地区内で開催する定型及び定型外訓練の運営を通じ、地区内全指導者の自己研鑽、に貢献する。

(評価) →研修会の運営面だけを捉えれば、十分な研修の場の提供は出来たと評価する。

但し、地区内指導者訓練への参加者数実績は、昨年度の35%減となった。

参加者数減少の解決策として、次年度は開催要項の早期配信、訓練内容の明確なインフォメーション、学習環境の改善を目指したい。

(目標)

- ・愛知県連盟指導者トレーニング委員会へ参画し、日本連盟及び県連盟への協力及び伝達される情報の地区内展開、また、周知を行う。

(評価) →県連盟開催の委員会にはすべて出席。また、同委員会での副委員長を拝命した。地区内への情報展開にはメール配信及び、ホームページの活用も出来、スピード感のある展開ができた。

事業計画の評価（各事業の日程は事業報告参照）

1. 県連盟指導者トレーニング委員会への参画→すべて参画した。
2. 地区指導者トレーニング委員会の開催（年間6回）→全6回開催した。
3. 指導者訓練研修会・講習会等の開催

定型訓練

- ・ボーイスカウト講習会・・・全2回開催した。
- ・安全セミナー・・・1回開催した。

定型外訓練（県連盟主催）

- ・プログラムセミナー（尾張地域・CS部門）・・・尾張西地区で開催
（尾張東地区からは支援を行った）

定型外訓練（地区主催）→すべての研修会を年1回、開催した。

- ・救急法講習会
 - ・団委員研修会
 - ・BVS 隊指導者研修会
 - ・CS 隊指導者研修会
 - ・DL 研修会
 - ・ゲーム・ソング研修会
 - ・野営法研修会
4. 地区指導者トレーニングチームとの共同（指導者訓練の開発と研究）
(評価) →指導者訓練の開発と研究に関しては、継続して協働する。

行事委員会

事業報告

1. 県連行事委員会への出席
(平成25年 5/10・7/12・10/5・12/7・平成26年 1/18・3/7)
2. 地区行事委員会の開催
(平成25年 4/29・6/16・8/18・10/20・12/15・平成26年 2/16)
3. 地区行事の運営、支援
(ア) 緑の募金
(イ) ビーバーラリー
(ウ) スカウトの日
(エ) 第16回日本ジャンボリー
(オ) カブラリー
4. 第16回日本ジャンボリー実行委員会への参画
5. ビーバーラリー実行委員会への参画
6. カブラリー実行委員会への参画
7. 23WSJ実行委員会の設立
8. 海外派遣面接(フィルモント派遣、スカウト・オーストラリア短期留学派遣、韓国インターナショナルパトロールジャンボリー派遣)

評価反省

- ・ビーバーラリーを実施することができた。各委員会と協力して実施できたことはよかった。
- ・野舎営届及び県外旅行申請の提出が遅いところが多いので、改善が必要である。
- ・2箇月毎の委員会ではあるが、出席率がよくないので、改善が必要である。
- ・地区備品の管理がうまく出来なかったため、次年度の課題としたい。

総務委員会

事業報告

1. 総会開催支援
2. スカウト活動の安全対応と予防の検討
 - ・緊急時連絡体制表
 - ・インシデント(ヒヤリハット)報告フォーマット作成
3. 第2回チャリティーポーリング地区予選の実施
4. ビーバーラリーへの救護班支援
5. 講演会 ”道を求めて” 開催
6. 地区主要会議記録の作成、速やかな情報伝達

評価反省

1. 安全活動として緊急連絡体制表の参考書式、インシデント報告フォーマット作成を行う、隊長会の賛同を得て今後運用とする。
2. 講演会を組織拡充委員会と合同開催しましたが、計画から実施への期間が短く多数の参加者が得られなかった、今後は地区単位で講演会企画を検討。
3. 地区内主要会議記録作成を行うと共に、委員会内で要点をまとめて報告実施して速やかな情報が伝達できた。
団内への情報反映が更に進むように工夫が必要である。
4. チャリティーポーリング大会への各団の出席は昨年の半数となり指導者間のコミュニケーション向上の達成は今一歩でありました。次年度は各団最低5名以上参加できるよう計画のアピールをしていきます。

事業報告

1. 年1回の総会と4回の定例会
総会、第1回参加者：9名
第2回参加者：5名
第3回参加者：7名
第4回参加者：7名
2. 5月小牧山親子ラリー奉仕
参加者：5名
3. 地区VSフォーラム運営
参加者：8名
4. 冬期アクティビティ
参加者：4名

評価反省

5月小牧山親子ラリー奉仕

- ・VSと一緒にモンキーブリッジの設置を行った。
- ・期間中、ポイント運営の奉仕を行った。

地区VSフォーラム運営

- ・VS担当副コミッショナーと話をしながら準備を行った。
- ・前泊を急遽中止するなど、予定外の事を行ってしまった。

冬期アクティビティ

- ・準備不足は解消されていなかったが、実施は出来た。
- ・提出書類の作成が遅く、すべての目的を達成できなかった。

全体を通して

- ・準備不足が解消されていない。
地区委員会や団委員長会議の日程を考えずに書類作成を行ったり、直前まで不足していたりした資料などが多かった。
- ・1つの企画に対しての参加人数が少ない。
小牧山親子ラリー奉仕や冬期アクティビティは参加者が4名と少なかった。連絡が行き届いていない事や、数か月前から予定の案内が必要である。
- ・地区内のRSの把握がうまく行えなかった。
地区内のRSの状況がわからず、連絡が行き届かない原因になったと考えられる。

コミッショナーグループ

事業報告

(1) 地区コミッショナー

①地区コミッショナー会議の開催

8回(4月21日、6月23日、7月21日、8月25日、10月27日、12月23日、1月26日、2月23日)

②加盟登録審査の開催

平成26年2月8日(土)、9日(日) 全23個団出席

③県連盟コミッショナー研究集会への参加

- ・地区コミッショナー会議 5回 [地区コミ対象：4/16、10/22、3/18
全コミ対象：7/6(9名)、1/25-26(10名)]
- ・部門別コミッショナー [BVS、BS：11/30、CS：12/6、VS：10/18、12/14、RS：2/9]
- ・団担当コミッショナー研究集会 [12/14 団担当4名]

④隊長ラウンドテーブルの開催 [上段：開催日、下段：出席隊数/出席率(%)]

部門	隊数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
BVS	23	5/26	6/23	7/28	9/23	10/27	11/24	1/26	3/23
		19/83	18/78	13/57	17/74	15/65	14/61	14/61	14/61
CS	26→24	5/26	6/23	7/28	9/23	10/27	11/24	1/26	3/23
		22/85	14/54	15/58	18/75	18/75	20/83	19/80	14/58
BS	26→24	5/19	6/23	7/21	9/23	10/27	11/24	1/26	3/23
		21/81	18/69	17/65	20/83	17/71	19/79	20/83	20/83
VS	25→23	4/13	5/19	6/16	7/21	9/16	11/17	1/19	3/16
		14/56	15/60	11/44	17/68	15/65	15/65	16/70	16/70
RS	25→23	6/23	9/23	11/24	1/26	-	-	-	-
		6/24	6/26	8/35	7/30	-	-	-	-

(2) 団担当コミッショナー

団訪問記録 (担当以外の訪問記録も含む)

団名	訪問日	担当	団名	訪問日	担当
犬山5	4/20,6/15,12/21	佐藤	春日井3	4/7,9/17,12/7,	椎葉
犬山7	5/11,7/13	小林	春日井4		高多
岩倉1	2/21,3/28	小林	春日井5	12/8	高多
大口1	11/23,12/28	小林	春日井8	4/8,12/12,12/28, 1/9	林
江南 1,2		申崎	春日井 10		椎葉
江南 3,4	6/5,7/20	高多	瀬戸1	6/1	椎葉
江南合併	2/2	—	瀬戸5	4/17,11/20	椎葉
北名古屋1		小林	瀬戸1,5	4/29,5/20,7/1,1/12	椎葉
北名古屋2	5/16,12/21	林	瀬戸6		佐藤
清須1	5/12,11/20/12/11	申崎	尾張旭1	7/14,9/1,11/3,12/15, 1/13,2/23	申崎
小牧1		林	長久手1	5/15,3/19	椎葉
小牧2		高多	日進1		申崎
春日井2		林	日進2		佐藤

1. 定例会合を4回実施した。
2. 団合併計画の協議に参加して協力した。
3. 団訪問は、担当する団へ随時訪問するとともに11月、12月には地区委員長、地区コミッショナーを含む複数のメンバーで8個団への訪問を実施した。
4. 団の継続登録審査の準備と実施に協力した。

2 評価反省

(1) 地区コミッショナー

- 各隊が協力して大会等の行事を乗り越える様子を見て、期を重ねる毎に各部門のまとまりがよくなってきたと実感する。このような素地が醸成されてきたため、今後は指導者の資質向上に重点を移す。これまでもRT内で展開している研修について、地区定型外訓練と積極的に連携して即応力の高い指導者の育成を行う。
- 該当団を絞り込んで団への訪問を行った結果、より多くの情報を得ることができた。今後も集中して支援を行い、団の改善計画を進める一助としたい。

(2) ビーバー部門

- 多くの支援のもと「ビーバーラリー」を大過なく終了でき、運営・開催をとおして、隊指導者としての知識や責任を再認識できた。
- 「グループワーク」や「ソング」をとおして、隊運営や隊集会プログラムへの積極的かつ効果的な取り組みを図ることができた。各団との情報交換のニーズが認められるため、より有意義な運営を検討したい。
- 隊長だけでなく副長の参加を促し、指導者としての意識の向上と協働の必要性を把握した。今後、定型訓練参加への支援が課題である。

(3) カブ部門

- 各回のRTで取り組む課題研究テーマについて、隊長のニーズにより設定することで、原隊活動にすぐに活かせるように取り組んだ。
- 第2回地区カブラリーの開催にあたって、各運営委員会から選任されたメンバーとともに実行委員会を立ち上げることで、地区行事としての実行体制を設けることができた。
- また、プログラムを担当するRTメンバーが、各エリア混合でひとつのポイントを担当することで、指導者相互の交流を図ることができた。
- 地区活動（RT、定型・定形外訓練、カブラリーなど）への関与の度合いについて、団によって温度差があるので、より魅力的な活動を展開し、すべての団が参加するように努力したい。

(4) ボーイ部門

- 本年度のボーイ部門は16NJへの参加が大きな課題であったが、昨年の東海三県連盟野営大会参加の反省を踏まえ、関係各位の協力を得て無事に終了することが出来た。また、今回はエリアを超えた隊編制により、スカウト及び指導者間の交流が進み、昨年度と比べて部門での一体感が向上した。
- RTにおいては、昨年度に引き続き研究テーマを毎回設け、技能訓練あるいは隊長としての隊運営能力の向上に努めた。
- 指導者の野営技能については、昨年度と比較して経験値は増えていると評価するが、16NJにおいては自身の野営生活に精一杯で、スカウトの指導まで意識を向けられない指導者も見受けられた。23WSJも見据え、長期野営における野営技能及び経験をさらに多くの指導者が体得するよう、地区定形外訓練と連動して、継続した取り組みが必要である。
- 菊スカウトへの進級者は40名程度と昨年度並みであったがまだまだ多いとは言えない。部門内での進歩に対する意識の向上および年間プログラムの適切な作成、進歩事務の指導等が次年度の課題である。

(5) ベンチャー部門

- RTで、隼章の取組みについて問題注出を行ったところ、進歩課目についての理解度が低いことに起因して正確な抽出ができなかった。また、探検旅行、プロジェクト、プログラム活動についての理解が曖昧であることもわかり、進歩制度について、指導者の研修を進める必要がある。
- RT内の研修で、グループに分かれ進歩課目中の課題の企画書を作成した。耳学でなく実際に作業する事で理解が進んだと評価でき、今後も経験による研修を実施したい。

(6) ローバー部門

- RTの内容に関しては、毎回テーマを設けて実施したが、それぞれの隊長の考え方によりかなり差があるように感じられた。隊長だけでなく、団の考え方もあると感じられるので、団に対する調査、意識改革に向けてRTの内容を検討していく必要がある。また、出席率を引き上げるための対策も検討しなければならないと感じた。
- 地区ローバースの活動内容を充実させるために、今後もアドバイザーと協働して支援をしていく必要がある。
- ローバー部門にエディンバラ公国際アワードが新設された。内容の理解と、実際の取組みのために、アワードリーダーとの連携し、スカウト・指導者への支援をしていく体制づくりを行う必要がある。

(7) 団担当コミッショナー

- 今期も6名の担当で活動した結果、各団で運営面の課題について協議ができたが、全団を訪問できなかったこと、改善が急がれる課題が残るなど、まだ成果が出るまでには至っていない。
- 合併は該当団の努力で順調に進み、今後の発展が期待される。
- チーム編成で訪問できたので幅広く活動できた。
- 今回の加盟登録審査は審査の結論をまとめることができ、今後この内容を団と相互に確認しながら、更なる発展に取り組むことが可能になった。

事業報告

①愛知連盟 事務長会議

年3回 平成25年7月6日、10月22日、平成26年3月18日

②地区委員会／団委員長会議の招集開催

地区委員会 9回開催

団委員長会議 3回開催

③会議資料作成などの事務作業

県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化

④行事費、登録費等会計に関わる資金管理

評価反省

事務長会議、諸会議において情報収集交換を積極的に行い、地区への情報展開を速やかに行い諸事項について総務委員会との協働で遅滞なく各団宛展開することができた、次年度の情報展開も総務委員会と協働で遅滞なく行う。

決算

H25年(2013年)度会計決算報告

1. 一般会計

<収入の部>

(単位：円)

科目	予算	決算	摘要
1 前年度繰越金	663,296	663,296	
2 地区費(継続登録)	1,587,400	1,587,400	20,000×26団+600×1,779人
3 地区費(追加登録)	72,000	69,000	追加登録154人
4 県連回付金	91,000	100,199	
1) 訓練研修費	76,000	76,000	BS講習会、救急章講習会、安全セミナー補助金
2) 緑の羽根還付金	15,000	24,199	緑の募金補助金
5 雑収入	400	152,615	寄付金、祝儀、利息等
6 積立金から取り崩し	600,000	0	
合計	3,014,096	2,572,510	

<支出の部>

科目	予算	決算	摘要
1 訓練研修費	240,000	176,312	
1) 指導者講習会・研修会	60,000	-10,647	BS講習会、各研修会支出 - 参加費 (257,353 - 268,000)
2) スカウト技能章講習会	30,000	49,959	技能章、フォーラム支出 - 参加費 (180,459 - 130,500)
3) コミッショナー研修会	150,000	137,000	コミッショナーグループ研修
2 行事費	110,000	90,366	
1) スカウトラリー	50,000	67,056	ビーバー(133,697 - 90,000)、カブ(208,459 - 185,100)
2) ベンチャー行事費	40,000	0	
3) ローバー行事費	20,000	23,310	地区ローバース活動費
3 事業費	740,000	657,481	
事業費			
組織・拡充委員会	180,000	254,171	活動費、資料、地区機関紙(189,000)、HP維持費(29,673)
指導者トレーニング委員会	40,000	20,720	旅費、印刷代他
スカウト進歩委員会	40,000	22,134	"
行事・国際委員会	60,000	22,000	"
総務委員会	50,000	32,073	"
コミッショナー	60,000	38,466	"
事務局	10,000	37,350	腕章、スカウトあいち掲載料(30,000)
運営費			
会議費	120,000	118,650	会場使用料
事務・通信費	50,000	4,162	振込手数料
慶弔費	30,000	89,755	祝儀、江南1、3団発団
雑費	100,000	18,000	トリエンナーレ負担
4 備品購入積立金	50,000	50,000	資材、機材、備品
5 全国大会関係積立金	200,000	200,000	日連、県連各大会
6 16NJ支援金	1,200,000	913,308	16NJ決算書参考
7 繰越金	474,096	485,043	
合計	3,014,096	2,572,510	

2. 特別会計

科目	前年度残高	H25年収入	H25年支出	次年度繰越	摘要
1 備品購入積立金	100,000	50,000	0	150,000	
2 全国大会関係積立金	2,350,000	200,000	0	2,550,000	23WSJ、2TC等準備金
合計	2,450,000	250,000	0	2,700,000	

収入の部

科目		予算			決算			差額	内訳
		単価	数量	金額	単価	数量	金額		
参加隊スカウト参加費	小計	100,000	144	14,400,000	100,000	144	14,400,000	-	
IST-VS参加費	小計	100,000	24	2,400,000	100,000	19	1,900,000	-500,000	
参加指導者負担金	小計	19,000	-	912,000	51,000	-	2,448,000	1,536,000	
地区補助金	小計			872,000			1,537,500	665,500	
雑収入	小計			-			82,350	82,350	
合計				18,584,000			20,367,850	1,783,850	

支出の部

大科目		予算			決算			差額	内訳
		単価	数量	金額	単価	数量	金額		
参加隊関係費				11,900,000			12,004,603	-104,603	
IST-VS関係費				2,160,000			1,968,000	192,000	
指導者関係費				3,704,000			5,764,000	-2,060,000	
実行委員運営費				520,000			344,555	175,445	
予備費				300,000			-	300,000	
地区会計戻入金					286,692	1	286,692	-286,692	残金を地区会計へ
合計				18,584,000			20,367,850	-1,783,850	

2014年4月6日

監査報告書

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会
協議会長 横江 昭 憲 殿

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会

監事 伊藤 敏行



監事 境 正人



私は、2013年度の決算において、帳簿並びに関係書類の監査を行った結果、収支決算書は会計帳簿の金額と一致し、尾張東地区の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認めます。

以上

26年度地区運営方針

今年度の地区目標

- 1 日連、県連事業方針の遵守
- 2 質・量とも充実した地区の確立
- 3 実効性のある地区運営
- 4 「第23回世界ジャンボリー」への対応

地区は、「より良き社会人となるべきスカウトとそれを支える指導者の献身的な奉仕により、地域と共生して存在するものである。」との考えのもと、「スカウト」、「指導者」、「地域」を三位一体として捉え、運営していくこととする。そのため、以下の事項を実施する。

(1) スカウトに対して、より良きサービスを提供する。

- ① スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施
(青少年100人に0.8人のスカウト確保を目指す)
25年4月 実績 1,021名 (地区平均0.7人)
- ② 「班(組)活動のできる」団に向けた対応を推進(団の統廃合を含む)
- ③ 海外派遣等のグローバルな活動への参加支援
- ④ 全ての団から、「菊」「富士」取得者を目指す
- ⑤ 「第23回世界ジャンボリー」に向けた対応

(2) 指導者の資質の向上を図る。

- ① 研修所、実修所への参加支援
 - ・カブ課程・団委員実修所への参加奨励
 - ・インサービス・サポートの推進
- ② 指導者研修の見直し(トレーニングチームを含む)
- ③ 団訪問等による団への支援を強化
- ④ 各種会議の実効性確保
 - ・隊長会および運営委員会の充実(研修の場としての活用)

(3) 地域と共にスカウト活動があるとの考えのもと、地域との連携を強化する。

- ① 市町村単位の地域行事への地区としての支援
- ② ラリー等の地区行事へのスカウト年齢の一般参加者の参加を推進
- ③ 地域内各種団体との連携(広報活動)を強化
- ④ 地域内青少年を対象とした行事の開催

組織・拡充委員会

事業目標

1. 組織・拡充委員の意識改革進め、募集活動を展開して全団のスカウト数を前年度比プラスとする。

事業計画

1. スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施
2. 組織委員のスキルアップの為、団運営研修所履修率向上を図る。
3. 地区誌を年間、3回発行する。
4. 地区WEBの拡充、運営
5. 募集イベントの情報交流を進め、団の企画力アップ
6. 講演会の継続開催
7. 愛知連盟図画写真コンテストへの出品と奉仕
8. 当地区図画写真コンテスト作品展示
9. 第23回世界ジャンボリーに向けた対応
10. 市町村単位の地域行事への地区としての支援
11. ラリー等の地区行事へのスカウト年齢の一般参加者の参加を推進
12. 地域内各種団体との連携（広報活動）を強化

スカウト進歩委員会

事業目標

- 地区運営方針を遵守し、総てのスカウトが地域・団の格差無く同じサービスを受ける事を目標とする
この目標を達成する具体的方策として
- ①総ての団のスカウト進歩委員は、自己の年間目標を掲げ、その遂行について毎月末にPDCAを行い、自団の団委員会にて報告する
 - ②年間目標には、次の項目を含む事を期待する
 - 1)BS 初級～菊、VS 章・隼・富士の団面接を実施して遅滞なく地区に報告する
団面接会には、個人進歩記録の面接会提出を義務付ける指導を行う
 - 1)が達成した団のスカウト進歩委員は
 - 2)CS、BS、VS、の個人進歩記録帳を遅滞なく各隊から入手し、進歩を評価する
その結果を団委員会に報告し、進歩の遅れが有れば団委員長に改善を提案する
 - ③団委員は自己の役務を理解し、その遂行に最善をつくす。この為の自己研鑽を怠らない
 - ④菊章>30名、隼章>6名以上、富士章>1名以上、技能章申請者70名以上の
数値目標を掲げる

事業計画

1. 定例地区スカウト委員会の開催 年六回
2. 地区技能章講習会の実施
 - 看護章講習会 2014/04/06 小牧市民会館
 - 炊事章・野営章講習会 2014/04/19-20 多治見市民の里地球村
 - 救急章講習会 2014/07/05-06 小牧中部公民館
 - 炊事・野営章講習会 2014/09/20-21 未定
 - 救急章講習会 2014/12/06-07 //
 - 茶道章講習会 2015/01/18 //
3. 地区スカウトフォーラムの実施
2014/07 下旬 VS主導で一泊を予定します
4. 宗教章講習会の開催

- 2014/09月-11月
5. 愛知スカウトフォーラムに代表スカウト派遣
2014/09/27-28
 6. 地区アフターフォーラムの実施
2015/03 頃 VS部門との協議事項
 7. 地区進級面接会の開催
菊章、隼章、富士章
 8. 進級記章伝達式
菊章・隼章は団訪問、富士章は団委員長会議などの機会を捉えて伝達
 9. 県連スカウト委員会への参加と事業の奉仕

指導者トレーニング委員会

事業目標

- ・地区運営方針に準拠し、指導者の資質の向上を図る。
- ・地区内で開催する定型及び定型外訓練の円滑な運営を通じ、指導者の自己研鑽に寄与する。
- ・地区内指導者、団委員（長）へのインサービス・サポート体制の確立に寄与する。
- ・愛知連盟指導者トレーニング委員会へ参画し、日本連盟及び県連盟への協力及び伝達される情報の地区内展開、また、周知を行う。

事業計画（各事業の日程は事業計画案参照）

1. 県連盟指導者トレーニング委員会への参画
2. 地区指導者トレーニング委員会の開催（年間6回）
3. 指導者訓練研修会・講習会等の開催（開催回数は、特記無き限り1回）
 - 定型訓練
 - ・団委員研修所（尾張地域）
 - ・ボーイスカウト講習会（2回）
 - ・安全セミナー
 - 定型外訓練（県連盟主催）
 - ・プログラムセミナー（尾張地域・BVS部門）
 - 定型外訓練（地区主催）
 - ・救急法講習会
 - ・隊指導者研修会（2回）
 - ・団委員研修会（2回）
 - ・野営法研修会（1回）

※各訓練の開催日程・会場等は、地区年間行事計画表参照。

4. 指導者トレーニング運営委員の、自己研鑽実施
 - ・委員会の都度、テーマを設けて研修
 - ・団委員研修所（実修所）への積極参加
5. 地区指導者トレーニングチームとの協働（指導者訓練の開発と研究）

行事・国際委員会

事業目標

- 地区、行事・国際委員会委員の出席率 80 パーセント以上を目指す。
- 野舎営届、県外旅行申請の徹底。
- 海外派遣参加者の増加。

事業計画

1. 県連行事委員会への出席
2. 地区行事委員会の開催
3. 地区行事の運営、支援
 - 緑の募金 2014.04
 - スカウトの日 2014.09
 - ビーバーラリー 2015.03
4. 23WSJ実行委員会への参画
5. ビーバーラリー実行委員会への参画
6. 地区備品の整理
7. 海外派遣面接

総務委員会

事業目標

1. スカウトカウト活動事故ゼロをめざす。
2. 地区内情報の共有化を進め、各団のコミュニケーションを図る。
3. 知県連盟総務委員会と連携し、地区・団への貢献を推進。

事業計画

1. 団総会運営の活性化
2. スカウト活動事故予防（ヒヤリハット）の水平展開
3. 活動時保険の研究（スカウト保険未加入者への保険対応等）
4. 団財政の健全化推進
5. 日連・県連 維持、賛助会員加入の推進

事業目標

- ・年間予定の完遂
- ・活動への参加者の増加

事業計画

1. 年1回の総会と年4回の定例会
総会：4月13日
地区ローバース活動の案内・報告
第1回：7月6日
第2回：9月7日
第3回：12月21日
第4回：2月15日
次年度総会：4月12日
2. 5月小牧山親子ラリーポイント運営
奉仕を通じて技能を身に付ける
3. 地区VSフォーラム運営奉仕
プログラムを運営する力を身につける
VSにローバーの活動を知ってもらう
4. アフターフォーラム
県フォーラムの結果を地区に還元する
5. 年2回のアクティビティ
自らプログラムを企画・運営する力をつける
6. 1～5までのプログラム実施のための会議(複数回)
プログラムを円滑に進めるために運営委員会を組織し会議を行う

コミッショナーグループ

1 地区コミッショナー

事業目標

- ・日本連盟及び県連盟の方針とその規約に従い、地区内のスカウト運動の基準を維持し、その純正な発展に寄与する。
- ・各種行事等の開催、参加等を進め、地区内のスカウト運動の活性化を図る。
- ・スカウト教育の基本に則し、野外活動をプログラムの中心にした隊運営ができる指導者を養成する。

事業計画

1. 地区定型外訓練と連携するなど研修機能を強化したラウンドテーブルを各部門（RS 部門を除く）年間8回以上開催
2. 各種行事等の実施、参加支援及び組織運営支援
 - ・第23回世界スカウトジャンボリー
 - ・ビーバーラリー
 - ・地区VS大会（仮称）
 - ・海外派遣
3. リーダートレーナーと積極的に連携を図り、役務分担を明確にして定型・定型外訓練に参加する指導者の支援及びスキルトレーニングの実施に協力する（インサービスサポート〔任務中の支援〕への取組み）。

4.会議等の開催

- ・地区コミッショナー会議 6回
- ・加盟登録審査 1回

5.県連盟地区コミッショナー会議及び研究集会への参加

6.指導者研修の再編及び地区トレーニングチームの強化

2 団担当コミッショナー

事業目標

- ・地区の方針に基づいた活動を実施する。
団への支援強化
地域ごとの団活動の実情調査と成果の把握
- ・年回4回以上の定例会合を開催して、活動の協議をする。
- ・団訪問の頻度と訪問先の場を選択する。

事業計画

- 1.団担当コミッショナー会合の開催
- 2.団訪問の計画の策定及び実施
- 3.地域の行事に参加している団の活動への訪問
- 4.継続登録審査への協力
- 5.BS運動の発展に繋がる情報を団に提供する。

事務局

事業目標

諸会議体等の円滑運営、団委員長会議への全団出席、地区委員会への全役員出席を目指す。

事業計画

1. 愛知連盟 事務長会議への参画
年3回 平成26年6月29日、11月20日、平成27年3月17日
2. 団委員長会議、年3回開催
3. 地区委員会 年9回開催
4. 地区財政・財務管理、資料管理
5. 総務委員会と協働し会議資料作成などの事務作業
6. 県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を図る

予算

H26年(2014年)度 予算

1. 一般会計

<収入の部>

(単位：円)

科 目	H25年予算	H26年予算	摘 要
1 前年度繰越金	663,296	485,043	
2 地区費(継続登録)	1,587,400	1,478,800	20,000×23団+600×1,698人
3 地区費(追加登録)	72,000	75,000	160人
4 県連回付金	91,000	125,000	
1) 訓練研修費	76,000	100,000	BS講習会、セミナー補助金
2) 緑の羽根還付金	15,000	25,000	緑の募金
5 雑収入	400	15,000	寄付金、祝儀、利息等
6 積立金から取り崩し	600,000	0	
合 計	3,014,096	2,178,843	

<支出の部>

科 目	H25年予算	H26年予算	摘 要
1 訓練研修費	240,000	230,000	
1) 指導者講習会・研修会	60,000	30,000	BS講習会、各研修会
2) スカウト技能章講習会	30,000	50,000	技能章研修会、フォーラム
3) コミッショナー研修会	150,000	150,000	コミッショナーグループ研修
2 行事費	110,000	90,000	
1) スカウトラリー	50,000	50,000	ビーバーラリー
2) ベンチャー行事費	40,000	20,000	地区ベンチャー会議
3) ローバー行事費	20,000	20,000	地区ローバース活動費
3 事業費	740,000	950,000	
事業費			
組織・拡充委員会	180,000	250,000	活動費、資料、地区機関紙(3回発行)
指導者トレーニング委員会	40,000	50,000	旅費、印刷代他
スカウト進歩委員会	40,000	40,000	〃
行事・国際委員会	60,000	50,000	〃
総務委員会	50,000	50,000	〃
コミッショナー	60,000	200,000	旅費、印刷代、トレーニングチーム経費
事務局	10,000	50,000	腕章、スカウトあいち掲載料
運営費			
会議費	120,000	120,000	会場使用料
事務・通信費	50,000	50,000	振込手数料他
慶弔費	30,000	60,000	祝儀他
雑費	100,000	30,000	
4 備品購入積立金	50,000	50,000	資材、機材、備品、安全対策等
5 全国大会関係積立金	200,000	500,000	日連、県連各大会
6 ジャンボリー支援金	1,200,000	0	
7 予備費	474,096	358,843	
合 計	3,014,096	2,178,843	

2. 特別会計

科 目	前年度残高	H25年収入	H26年支出	次年度繰越	摘 要
1 備品購入積立金	150,000	50,000	0	200,000	
2 全国大会関係積立金	2,550,000	500,000	0	3,050,000	23WSJ、2TC等準備金
合 計	2,700,000	550,000	0	3,250,000	

平成25年度運営委員会出席状況表

スカウト進歩委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	3/6	50
犬山第7団	6/6	100
岩倉第1団	5/6	83.3
大口第1団	6/6	100
尾張旭第1団	5/6	83.3
春日井第2団	6/6	100
春日井第3団	2/6	33.3
春日井第4団	4/6	66.7
春日井第5団	6/6	100
春日井第8団	6/6	100
春日井第10団	6/6	83.3
北名古屋第1団	6/6	100
北名古屋第2団	5/6	83.3

	出席/開催	出席率
清須第1団	3/6	50
江南第1団	5/6	83.3
江南第2団		
江南第3団	6/6	100
江南第4団		
小牧第1団	4/6	66.7
小牧第2団	6/6	100
瀬戸第1団	5/6	83.3
瀬戸第5団	1/6	16.7
瀬戸第6団	5/6	83.3
長久手第1団	3/6	50
日進第1団	3/6	50
日進第2団	5/6	83.3

行事・国際委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	0/6	0
犬山第7団	5/6	83.3
岩倉第1団	0/6	0
大口第1団	0/6	0
尾張旭第1団	5/6	83.3
春日井第2団	4/6	66.6
春日井第3団	1/6	16.6
春日井第4団	2/6	33.3
春日井第5団	6/6	100
春日井第8団	1/6	16.6
春日井第10団	6/6	100
北名古屋第1団	5/6	83.3
北名古屋第2団	4/6	66.6

	出席/開催	出席率
清須第1団	6/6	100
江南第1団	5/6	83.3
江南第2団		
江南第3団	6/6	100
江南第4団		
小牧第1団	4/6	66.6
小牧第2団	1/6	16.6
瀬戸第1団	0/6	0
瀬戸第5団	1/6	16.6
瀬戸第6団	4/6	66.6
長久手第1団	1/6	16.6
日進第1団	5/6	83.3
日進第2団	4/6	66.6

指導者トレーニング委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	4/6	66.7
犬山第7団	6/6	100
岩倉第1団	4/6	66.7
大口第1団	1/6	16.6
尾張旭第1団	5/6	83.3
春日井第2団	5/6	83.3
春日井第3団	2/6	33.3
春日井第4団	4/6	66.7
春日井第5団	6/6	100
春日井第8団	5/6	83.3
春日井第10団	6/6	100
北名古屋第1団	5/6	83.3
北名古屋第2団	5/6	83.3

	出席/開催	出席率
清須第1団	3/6	50.0
江南第1団	5/6	83.3
江南第2団		
江南第3団	6/6	100
江南第4団		
小牧第1団	4/6	66.7
小牧第2団	4/6	66.7
瀬戸第1団	6/6	100
瀬戸第5団	5/6	83.3
瀬戸第6団	5/6	83.3
長久手第1団	5/6	83.3
日進第1団	6/6	100
日進第2団	6/6	100

組織・拡充委員会

団名	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/6	83.3
犬山第7団	3/6	50
岩倉第1団	0/6	0
大口第1団	6/6	100
尾張旭第1団	0/6	0
春日井第2団	6/6	100
春日井第3団	5/6	83.3
春日井第4団	5/6	83.3
春日井第5団	5/6	83.3
春日井第8団	5/6	83.3
春日井第10団	3/6	50
北名古屋第1団	6/6	100
北名古屋第2団	5/6	83.3

団名	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83.3
江南第1団	6/6	100
江南第2団	1/3	33.3
江南第3団	5/6	83.3
江南第4団	0/3	0
小牧第1団	5/6	83.3
小牧第2団	0/6	0
瀬戸第1団	2/6	33.3
瀬戸第5団	5/6	83.3
瀬戸第6団	5/6	83.3
長久手第1団	1/6	16.7
日進第1団	5/6	83.3
日進第2団	6/6	100

総務委員会

団名	出席/開催	出席率
犬山第5団	3/7	42.8
犬山第7団	3/7	42.8
岩倉第1団	0/7	0
大口第1団	6/7	85.7
尾張旭第1団	4/7	57.1
春日井第2団	6/7	85.7
春日井第3団	5/7	71.4
春日井第4団	7/7	100
春日井第5団	6/7	85.7
春日井第8団	0/7	0
春日井第10団	6/7	85.7
北名古屋第1団	4/7	57.1
北名古屋第2団	6/7	85.7

団名	出席/開催	出席率
清須第1団	5/7	71.4
江南第1団	5/7	71.4
江南第2団		
江南第3団	7/7	100
江南第4団		
小牧第1団	6/7	85.7
小牧第2団	2/7	28.6
瀬戸第1団	1/7	14.2
瀬戸第5団	1/7	14.2
瀬戸第6団	7/7	100
長久手第1団	4/7	71.4
日進第1団	3/7	42.8
日進第2団	7/7	100

表彰関連

平成25年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟	褒状	開内佐恵子	小牧第1団ビーバースカウト隊隊長
		中谷真里	小牧第1団カブスカウト隊隊長
	かっこう章	丹羽好三	北名古屋第1団 団委員
	特別 年功章	5年	26名
		10年	8名
		15年	4名
		20年	3名
	団50年章	清須第1団, 尾張旭第1団, 春日井第2団	
	隊褒章綬	5年	清須1RS隊
		15年	春日井3RS隊
		20年	大口1RS隊
		25年	北名古屋2RS隊, 日進1BVS隊 日進2BVS隊
		35年	犬山5VS隊, 江南4CS隊, 北名古屋2CS隊, 小牧1CS隊 春日井4VS隊, 春日井8CS隊, BS隊
		40年	岩倉1CS隊, 江南3CS隊, 日進2CS隊, 北名古屋1RS隊, 瀬戸1VS隊
		45年	岩倉1BS隊, 清須1CS隊, 瀬戸1CS隊, BS隊, 春日井4CS隊
50年		清須1BS隊, 尾張旭1CS隊 春日井2BS隊	
愛知連盟	配偶者 感謝状	五井百合江	春日井第4団団委員 五井氏 奥様
		天野幸子	春日井第4団団委員 天野氏 奥様
	県連有功章	林由美子	尾張旭第1団ベンチャー隊長
		与語雅巳	瀬戸第5団ビーバー隊長
		加藤智浩	瀬戸第5団副団委員長
		青木真一	瀬戸第5団カブ隊長
		橋爪良幸	小牧第1団団委員長
		本多宗学	瀬戸第5団ローバー隊長
		伊藤功典	小牧第1団ボーイ副長
		伊藤宏亨	瀬戸第5団ボーイ副長
		小川益司	瀬戸第5団団委員
		水谷英一	江南第1団カブ隊長
		横山靖明	瀬戸第5団団委員
	顕章記章	北名古屋1	中川大輔、石原和佳
		小牧1	船橋昭成、佐藤加南
春日井2		小林 佑	
日進1		星野 輝	

平成25年度—平成26年度地区役員名簿

役務	氏名	所属	
協議会会長	横 江 昭 憲	日 進 第 2 団	
協議会副会長	船 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団	
	見 平 隆	岩 倉 第 1 団	
地区委員長	井 上 勲	小 牧 第 2 団	
地区副委員長	中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団	
	佐 々 由 高	犬 山 第 7 団	
地区コミッショナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団	
地区副コミッショナー	BVS	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
		石 川 保 子	江 南 第 1 団
	CS	水 谷 英 一	江 南 第 1 団
		伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
	BS	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 1 0 団
		古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
	VS	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 3 団
		小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
	RS	河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
		水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
団担当コミッショナー	高 多 宣 彰	日 進 第 1 団	
	林 尊 浩	瀬 戸 第 6 団	
	串 崎 武 志	春 日 井 第 1 0 団	
	佐 藤 慶 子	春 日 井 第 2 団	
	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団	
組織・拡充委員長	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団	
組織・拡充副委員長	青 木 正 士	春 日 井 第 4 団	
	板 津 尚	犬 山 第 5 団	
指導者トレーニング委員長	伊 吹 登	長 久 手 第 1 団	
指導者トレーニング副委員長	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団	
スカウト進歩委員長	中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団	
スカウト進歩副委員長	八 橋 隆	江 南 第 1 団	
行事・国際委員長	間 下 伸 一	清 須 第 1 団	
行事・国際副委員長	竹 原 謙 介	瀬 戸 第 1 団	
総務委員長	田 口 澄 雄	瀬 戸 第 6 団	
総務副委員長	大 谷 茂	北 名 古 屋 第 1 団	
事務長	平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団	
副事務長	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団	
会計係	志 水 幹	日 進 第 2 団	
ローバース代表委員	石 原 丈 裕	北 名 古 屋 第 1 団	
	松 井 雅 裕	尾 張 旭 第 1 団	
監事	伊 藤 敏 行	江 南 第 3 団	
	境 正 人	犬 山 第 5 団	

トレーニングチーム/救急チーム/WEBチーム

尾張東地区トレーニングチームメンバー				
	NO	役 務	氏 名	所 属 団
日本連盟	1	リーダートレーナー	見 平 隆	岩 倉 第 1 団
	2	リーダートレーナー	井 上 勲	小 牧 第 2 団
	3	リーダートレーナー	伊 吹 登	長 久 手 第 1 団
	4	リーダートレーナー	中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
	5	アシスタントリーダートレーナー	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 3 団
	6	アシスタントリーダートレーナー	森 祐 次	瀬 戸 第 6 団
	7	アシスタントリーダートレーナー	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団
	8	アシスタントリーダートレーナー	中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
	9	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団
	10	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 真 里	小 牧 第 1 団
	11	アシスタントリーダートレーナー	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
	12	アシスタントリーダートレーナー	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
	13	アシスタントリーダートレーナー	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
県トレーニングチーム	1	チームスタッフ 新任	宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
	2	チームスタッフ	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
	3	チームスタッフ 新任	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
	4	チームスタッフ	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 10 団
	5	チームスタッフ	河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
	6	チームスタッフ 新任	植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
	7	チームスタッフ	石 川 保 子	江 南 第 1 団
	8	チームスタッフ	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
	9	チームスタッフ 新任	栗 本 雅 仁	小 牧 第 1 団
	10	チームスタッフ 休務	伊 藤 宏 享	瀬 戸 第 1 団
	11	チームスタッフ	林 尊 浩	瀬 戸 第 6 団
	12	チームスタッフ	引 地 一 憲	長 久 手 第 1 団
地区トレーニングチーム	1	チームスタッフ	古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
	2	チームスタッフ	佐 藤 慶 子	春 日 井 第 2 団
	3	チームスタッフ	小 林 志 穂	春 日 井 第 2 団
	4	チームスタッフ	岩 田 み ど り	春 日 井 第 3 団
	5	チームスタッフ	小 林 泰 陸	春 日 井 第 4 団
	6	チームスタッフ	伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
	7	チームスタッフ	串 崎 武 志	春 日 井 第 10 団
	8	チームスタッフ	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
	9	チームスタッフ	水 谷 英 一	江 南 第 1 団
	10	チームスタッフ	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団
	11	チームスタッフ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団
	12	チームスタッフ	船 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団
	13	チームスタッフ	古 木 涉 太	小 牧 第 1 団
	14	チームスタッフ	開 内 佐 恵 子	小 牧 第 1 団
	15	チームスタッフ	山 梨 智 恵	長 久 手 1 団
	16	チームスタッフ	高 多 宣 彰	日 進 第 1 団
	17	チームスタッフ	佐 藤 精	日 進 第 2 団

尾張東地区救急チームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	チーフ	小林 泰陸	春日井第4団
2	サブチーフ	高多 宣彰	日進第1団
3		横江 昭憲	日進第2団
4		串崎 武志	春日井第10団
5	事務局	中村 里美	北名古屋第2団
6		増田 恵子	春日井第5団
7		片谷 文	春日井第5団
8		松本 陽子	春日井第2団
9		水野 勲	春日井第8団
10		五井 忍	春日井第4団
11		西下 秀志	北名古屋第2団
12		椎葉 浩志	江南第3団
13		杉本 京子	犬山第5団
14		伊佐治 知加子	日進第2団
15		勝田 裕子	日進第2団
16		式部 宏美	日進第2団

尾張東地区WEBチームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	スタッフ	椎葉 浩志	江南第3団
2	スタッフ	石原 昌幸	江南第3団